

平成29年度第4回社会教育委員会議会議録

日 時 平成29年9月14日(木)

15:00～16:00

場 所 本庁舎7階会議室

出席委員 山口議長、大澤委員、藤島委員、池永委員、奈良委員（5名）

欠席委員 小林副議長、中川委員、榎本委員、辻委員、渡辺委員（5名）

事務局 教育委員会教育部：瀬能部長、山口次長

生涯学習課：鍛冶課長、田中主査、斉藤主査、杉本主査、久保主任主事

1 開 会 鍛冶課長

2 挨 拶

山口社会教育委員会議長

3 議 事

(1) 第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画（案）について

資料に基づき、事務局から説明

《質疑の主な内容》

議 長：ただいまの説明について、質問・ご意見ございますか。

委 員：個人的には前回検討したものと、今回事前に送付されてきた計画（案）を見比べてきましたが、直すべきところをきちんと検討されており、コンパクトにまとまっているので特に問題や意見はありません。

議 長：わかりました。他にご意見ありますか。

委 員：施策1の01番子どもの健やかな発達や学びの支援の中で、(具体的な取り組みの)一番下の子どもの読書活動の普及・啓発とありますが、読書活動に限定している理由とかがありますか。苫小牧市はスポーツとかにも力を入れていますが、ここで読書活動に限定しているものですから。

事 務 局：前回の第四次計画にも読書活動の普及・啓発の項目がありまして、これまでの議論で事業の継続を基本とするとの観点から、第五次計画にも盛り込

んだものとなります。スポーツに関しては、市の中で色々な部署がありますが、市長部局の総合政策部で行っておりますので、今のところ教育委員会の所管ではない状況です。ただし、スポーツも広い意味で生涯学習の一環でありまして、生涯学習の取組とはなりますが、今回（具体的な取り組み）は所管の違いもあることからスポーツとして（子どもの健やかな発達としては）少し薄まっております。

委 員：わかりました。

委 員：08番のセカンドライフとしたのは良いことだと思いますが、文章の中で「活用」という言葉が入っています。私どものボランティア活動の中でも「活用」という言葉は使わないようにしているんですが、施策内容を見ていわゆる高齢者を、一度リタイヤした方を社会出てきて、引っ張ってくることでですね。それを「活用」とは適切かどうか、だからと言って、何が適切かは分からないですけど。どちらかと言うと、人材活用と言ったら会社関係では上と下ということになりますが、こういう分野ではお願いになるので、何か違う言葉があったらいいのかなと思います。

事 務 局：純粹にセカンドライフ世代を色々な場で使うと言うような観点で作成しましたので、「活用」というその辺まで、上下の関係とかまで考えてないところがありましたので、ご指摘を踏まえまして適切な表現を探してみたいと思います。

議 長：その部分は検討していただければと思います。その他ありますか。それでは大澤委員がおっしゃっていましたが、非常にコンパクトにまとまっていると思います。

事 務 局：この後ですが、一部重複する文書などもありましたので、事務局で精査し、ご指摘いただいた部分も含めまして、最終案をお示ししたいと思います。

議 長：各委員の皆様よろしいでしょうか。それでは、社会教育委員の意思決定としてよろしいですね。

全 委 員：了承

議事2平成29年度文化賞・文化奨励賞表彰候補者名簿（案）については非公開案件のため、非掲載。

4 その他について

①次回開催予定説明

10月の下旬頃になると思っております。

毎回日程がずれ込みまして申し訳ございません。